

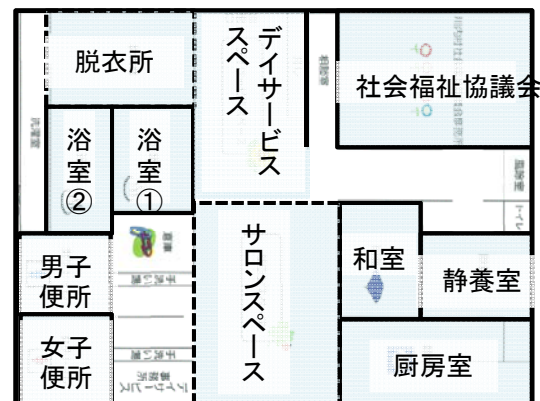
## 概要・目的

- 被災地の仮設住宅における高齢者等の安心した日常生活を支えるため、総合相談、居宅サービス、生活支援サービス、地域交流など総合的な機能を有する拠点として、「介護等のサポート拠点」を整備。
- 介護等のサポート拠点の設置・運営等のための費用として、平成23年度第一次及び第三次補正予算において、合計で約160億円を計上。
- 介護等のサポート拠点の各県毎の設置箇所数は104箇所(岩手県27箇所、宮城県52箇所、福島県25箇所)。(平成24年4月5日時点(予定含む))

## サポート拠点の一例(福島県郡山市)



サポートセンター外観



### 主な機能

総合相談

デイサービス

居宅サービス等

(居宅介護支援、訪問介護)

配食サービス等の生活支援

地域交流



サロンスペース



浴室

## 介護等のサポート拠点の活動状況 (平成24年2月1日時点)

### 【 被災3県のサポート拠点103ヶ所のうち、アンケートに回答のあった62ヶ所の概要 】

総合相談・見守り (回答数:43ヶ所)

- 1日あたり数名～10名程度が利用
- 週5～6日(岩手県、宮城県)・毎日(福島県)開設

デイサービス (回答数:16ヶ所)

- 1日あたり10名～15名程度が利用、週5～6日開設
- 全て介護保険の通所介護の指定を受けている

配食サービス (回答数:7ヶ所)

- 1日あたり数名～10名程度が利用
- 毎日若しくは週5～6日提供

地域交流サロン (回答数:29ヶ所)

- 1日あたり10名～20名程度が利用
- 週1～2日(岩手県、宮城県)から週5～6日(福島県)開催
- サロンでは、お茶会、ヨガ教室、おやつづくり、健康づくり教室、地域交流会等を開催

その他のサービス

- 子どもの一時預かり(回答数:6ヶ所)  
→1日あたり数名程度が利用、週5～6日開催
- その他、介護予防教室、浴室の仮設入居者への開放等を実施